（無断複写・転載を禁ず）

第75回税理士試験　消費税法
第二問（計算）解答

〔表示内容の説明〕
配　点：●・・・１点（50点）

Ⅰ　課税標準額に対する消費税額

【課税標準額】

計　算　過　程　（単位：円）

１．標準税率
(1)　国内取引
①　不動産賃貸収益　8,250,000円＋2,750,000円＝ 11,000,000円●
②　雑収入　242,453円
③　固定資産売却益
イ　営業車　1,969,606円－12,050円＝ 1,957,556円
ロ　マンションＡ　495,000,000円
ハ　ビルＢ　500,000,000円＋330,233円＝ 500,330,233円
ニ　イ～ハの計　997,287,789円●
④　①～③の計　1,008,530,242円
1,008,530,242円×100/110＝ 916,845,674円
(2)　特定課税仕入れ　50,184,347円●
(3)　(1)+(2)＝ 967,030,021円 → 967,030,000円
２．軽減税率
(1)　総売上高　3,687,048,955円－467,874,500円＝ 3,219,174,455円●
3,219,174,455円×100/108＝ 2,980,717,087円 → 2,980,717,000円
３．１＋２＝ 3,947,747,000円

金額	3,947,747,000円

【課税標準額に対する消費税額】

計　算　過　程　（単位：円）

１．標準税率　967,030,000円× 7.8%＝ 75,428,340円
２．軽減税率　2,980,717,000円×6.24%＝ 185,996,740円
３．合計　261,425,080円

金額	●261,425,080円

Ⅱ　仕入れに係る消費税額の計算等

【課税売上割合】

計　算　過　程　（単位：円）

１．課税資産の譲渡等の対価の額
(1)　916,845,674円＋2,980,717,087円＋●467,874,500円＝ 4,365,437,261円
(2)　54,649,449円－54,649,449円× $\frac{6.24}{108}$ × $\frac{100}{78}$ ＝ 50,601,341円
(3)　(1)－(2)＝ 4,314,835,920円
２．その他の資産の譲渡等の対価の額
(1)　総売上高
①　受取利息配当金　9,786円＋765,474円＝ 775,260円
②　不動産賃貸収入　30,934,530円＋2,970円＋50,000,000円＋6,000,000円＝ 86,937,500円●
③　有価証券売却収入　347,400,000円×５％＝ 17,370,000円●
④　リサイクル預託金　12,050円×５％＝ 602円●
⑤　固定資産売却益　330,000,000円＋550,000,000円＋82,550円＝ 880,082,550円●

次ページへ続く

（無断複写・転載を禁ず）

【課税売上割合】（続き）

計　算　過　程			（単位：円）
⑥　①～⑤の計　985,165,912円 (2)　対価の返還等　2,970円● (3)　(1)－(2)＝ 985,162,942円 3．資産の譲渡等の対価の額 1 ＋ 2 ＝ 5,299,998,862円 4．課税売上割合 $\frac{4,314,835,920円}{5,299,998,862円}$ ＜ 95%　∴　リバースチャージ方式適用あり	課税売上割合	● $\frac{4,314,835,920円}{5,299,998,862円}$	

【仕入れに係る消費税額の計算方法の判定】

計　算　過　程		（単位：円）
1．4,314,835,920円 ＞ 500,000,000円　∴　按分控除● 2　$\frac{4,314,835,920円}{5,299,998,775円}$ ＝ 0.8141… ＜ 95%		
	判定結果	□　全額控除　　☑　個別対応方式又は一括比例配分方式 いずれかに✓を付すこと

【仕入れに係る消費税額】

計　算　過　程	（単位：円）
1．課税資産の譲渡等にのみ要するもの	
(1)　課税仕入れに係る消費税額	
①　標準税率	
イ　役員報酬及び給料手当	7,697,063円
ロ　広告宣伝費	26,560,000円
ハ　旅費交通費　3,819,476円－3,000円＋8,200円＋547,000円＝ 4,371,676円●	
ニ　地代家賃　12,346,000円－3,960,000円＝ 8,386,000円●	
ホ　製造原価報告書	
(a)　当期材料仕入高　13,680,492円●	
(b)　賃金　37,843,920円	
(c)　福利厚生費　845,610円＋600,000円＝ 1,445,610円	
(d)　消耗品費　169,328,916円	
(e)　修繕費　190,263,441円	
(f)　水道光熱費　75,812,921円	
(g)　試験研究費　4,699,546円＋2,204,320円－（545,000＋165,000円） ＋5,138,401円＋4,961,360円＝16,293,627円●	
(h)　雑費　9,694,324円	
(i)　(a)～(h)の計	514,363,251円●
ヘ　イ～ホの計　561,377,990円	
561,377,990円× $\frac{7.8}{110}$ ＝ 39,806,802円	
②　軽減税率	
イ　当期材料仕入高　456,012,654円－13,680,492円＝ 442,332,162円●	
ロ　試験研究費　57,996,973円－4,699,546円＋7,028,244円＝ 60,325,671円●	
ハ　イ＋ロ＝ 502,657,833円	
502,657,833円× $\frac{6.24}{108}$ ＝ 29,042,452円	
	次ページへ続く

（無断複写・転載を禁ず）

【仕入れに係る消費税額】（続き）

計　　算　　過　　程　　（単位：円）

(2)　80%控除対象の課税仕入れ（標準税率）

①　地代家賃　3,960,000円

$3,960,000円 \times \frac{7.8}{110} \times 80\% = 224,640円$●

(3)　特定課税仕入れ

①　広告宣伝費　50,184,347円

$50,184,347 \times \frac{7.8}{100} = 3,914,379円$●

2．その他の資産の譲渡等にのみ要するもの

(1)　課税仕入れに係る消費税額（標準税率）

①　有価証券売却手数料　13,200円

$13,200円 \times \frac{7.8}{110} = 936円$●

3．共通して要するもの

(1)　課税仕入れに係る消費税額

①　標準税率

イ　役員報酬及び給与手当　1,225,893円●

ロ　福利厚生費　160,600円＋120,000円＝ 280,600円●

ハ　広告宣伝費　650,000円＋5,490,000円＝ 6,140,000円●

ニ　旅費交通費　713,454円－1,500円＋103,000円＝ 814,954円

ホ　接待交際費　12,065,405円－2,346,500円－3,450,000円－1,100,000円＝ 5,168,905円●

ヘ　通信費　2,172,389円－125,500円＝ 2,046,889円

ト　修繕費　1,987,603円

チ　教育関連費　2,756,432円－880,000円＝ 1,876,432円●

リ　雑費　1,800,000円＋431,000円＋1,237,054円－210,755円－(870,000円－181,700円)＝ 2,568,999円●

ヌ　水道光熱費　1,195,579円

ル　消耗品費　2,546,198円

ヲ　賃借料　2,764,537円

ワ　支払手数料　8,967,481円

●

カ　仲介手数料　27,291,000円※1＋34,716,000円※2＝ 62,007,000円●

※1　マンションA　　※2　ビルB（どちらも判定していて●）

$\frac{495,000,000円}{825,000,000円} < 0.8141\cdots$　∴　共通対応　　$\frac{500,330,233円}{1,050,412,783円} < 0.8141\cdots$　∴　共通対応

ヨ　製品不良関連損失　210,989,345円＋4,010,680円＋13,094,400円＋45,526,600円－4,501,000円＋784,230円

＝ 269,904,255円●

タ　車両購入費　8,201,420円●

レ　イ～タの計　377,696,745円

$377,696,745円 \times \frac{7.8}{110} = 26,782,132円$

②　軽減税率

イ　雑費　754,000円＋243,000円＋210,755円－181,700円＝ 1,026,055円

$1,026,055円 \times \frac{6.24}{108} = 59,283円$●

(2)　80%控除対象の課税仕入れ

①　標準税率

イ　接待交際費　2,346,500円

ロ　教育研修費　880,000円

ハ　雑費　870,000円－181,700円＝ 688,300円

次ページへ続く

（無断複写・転載を禁ず）

【仕入れに係る消費税額】（続き）

計　　算　　過　　程　　（単位：円）

ニ　製品不良関連損失　　4,501,000円

ホ　イ～ニの計　8,415,800円

$8,415,800円 \times \frac{7.8}{110} \times 80\% = 477,404円$●

② 軽減税率

イ　雑費　181,700円

$181,700円 \times \frac{6.24}{108} \times 80\% = 8,398円$●

4．課税仕入れ等の税額の合計

(1) 課税仕入れに係る消費税額

① 標準税率

561,377,990円＋13,200円＋377,696,745円＝ 939,087,935円　　$939,087,935円 \times \frac{7.8}{110} = 66,589,871円$

② 軽減税率

502,657,833円＋1,026,055円＝ 503,683,888円　　$503,683,888円 \times \frac{6.24}{108} = 29,101,735円$

(2) 80%控除対象の課税仕入れ

① 標準税率

3,960,000円＋8,415,800円＝ 12,375,800円　　$12,375,800円 \times \frac{7.8}{110} \times 80\% = 702,044円$

② 軽減税率　8,398円

(3) 特定課税仕入れ　3,914,379円

5．控除対象仕入税額

(1) 個別対応方式

① 標準税率　39,806,802円＋224,640円＋3,914,379円＋（26,782,132円＋477,404円）×0.8141…＝ 66,138,358円

② 軽減税率　29,042,452円＋（59,283円＋8,398円）×0.8141…＝ 29,097,552円

③ ①＋②＝ 95,235,910円

(2) 一括比例配分方式

① 標準税率　(66,483,910円＋702,044円＋3,914,379円)×0.8141…＝ 57,884,214円

② 軽減税率　（29,101,735円＋8,398円）×0.8141…＝ 23,699,146円

③ ①＋②＝ 81,583,360円

(3) (1) ＞ (2)　∴　95,235,910円

金額	95,235,910円

【仕入に係る消費税額の調整】

計　　算　　過　　程　　（単位：円）

(課税売上割合が著しく変動した場合の調整対象固定資産に関する仕入に係る消費税額の調整)

1．調整対象固定資産の判定

(1) ソフトウェア　31,500,000円×100/110＝ 28,636,363円 ≧ 1,000,000円　∴　該当する ●

(2) 車両(その他部門用)　8,201,420円×100/110＝ 7,455,836円 ≧ 1,000,000円　∴　該当する

（注）車両は当課税期間が第3年度の課税期間に該当しないため、調整対象固定資産の著しい変動の調整はない。

2．著しい変動の判定（計算過程に●）

(1) 仕入れ等の課税期間の課税売上割合

3,245,287,552円/3,260,120,198円＝ 0.9954…

(2) 通算課税売上割合

① 課税資産の譲渡等の対価の額　3,245,287,552円＋3,452,433,566円＋4,314,835,920円＝ 11,012,557,038円

② 資産の譲渡等の対価の額　3,260,120,198円＋3,551,928,722円＋5,299,998,862円＝ 12,112,047,782円

③ 通算課税売上割合　①／②＝ 0.9092…

(3) 著しい変動の判定

① 変動率

$\frac{0.9954\cdots - 0.9092\cdots}{0.9954\cdots} = 0.0866\cdots < 0.5$

② 変動差

0.9954…－0.9092…＝ 0.0862… ≧ 0.05

∴　著しい変動なし●

（無断複写・転載を禁ず）

【仕入に係る消費税額の調整】（続き）

計　　算　　過　　程　　（単位：円）

（居住用賃貸建物を課税賃貸用に供した場合等の仕入に係る消費税額の調整）

1．居住用賃貸建物の判定

(1)　マンションA　(420,000,000＋330,233)×100/110＝ 382,118,393円 ≧ 10,000,000円　∴　該当する●

(2)　ビルB　(120,000,000円＋380,000,000円)×100/110＝ 454,545,454円 ≧ 10,000,000円　∴　該当する●

2．課税譲渡等割合

(1)　マンションA

①　課税分

$495,000,000円 \times \frac{100}{110} = 450,000,000円$

②　非課税分

6,875,000円＋41,250,000円＋30,934,530円＋2,970円－2,970円＝ 79,059,530円

③　①＋②＝ 529,059,530円

④　課税譲渡等割合

$\frac{450,000,000円}{529,059,530円} = 0.8505\cdots$●

(2)　ビルB

①　課税分

$(500,000,000円＋330,233円) \times \frac{100}{110} = 454,845,666円$

②　非課税分

50,000,000円＋50,000,000円＝ 100,000,000円

③　①＋②＝ 554,845,666円

④　課税譲渡等割合

$\frac{454,845,666円}{554,845,666円} = 0.8197\cdots$●

3．調整税額

(1)　マンションA

①　$(420,000,000円＋330,233円) \times \frac{7.8}{110} = 29,805,234円$●

②　29,805,234円×0.8505…＝ 25,351,315円

(2)　ビルB

①　$(160,000,000円＋160,000,000円＋172,000,000円) \times \frac{380,000,000円}{500,000,000円} = 373,920,000円$

②　$373,920,000円 \times \frac{7.8}{110} = 26,514,327円$●

③　26,514,327円×0.8197…＝ 21,735,641円

(3)　(1)＋(2)＝ 47,086,956円

調整税額	●47,086,956円
調整後の仕入に係る消費税額	142,322,866円

【売上げに係る対価の返還等に係る消費税額】

計　　算　　過　　程　　（単位：円）

14,247,289円＋40,402,160円＝ 54,649,449円

$54,649,449円 \times \frac{6.24}{108} = 3,157,523円$

金額	●3,157,523円

（無断複写・転載を禁ず）

【貸倒れに係る消費税額】

計　算　過　程		（単位：円）
475,431円× $\frac{6.24}{108}$ ＝ 27,469円		
	金額	●27,469円

Ⅲ　差引税額又は控除不足還付税額の計算

【差引税額又は控除不足還付税額】

計　算　過　程		（単位：円）
1．標準税率 75,428,340円－（66,138,358円＋47,086,956円）＝△37,796,974円 2．軽減税率 185,996,740円－（29,097,552円＋3,157,523円＋27,469円） ＝ 153,714,196円 3．1 ＋ 2 ＝ 115,917,222円 → 115,917,200円（百円未満切捨）	金額	115,917,200円

Ⅳ　中間納付税額の計算

【中間納付税額】

計　算　過　程		（単位：円）
【中間申告の要否の判定】 $\frac{107,164,200円}{12}$ ＝ 8,930,350円 ＞ 4,000,000円　∴　申告必要 8,930,300円（百円未満切捨）×11回＝ 98,233,300円		
【中間納付税額】 98,233,300円		
	金額	●98,233,300円

Ⅴ　納付税額又は中間納付還付税額の計算

【納付税額又は中間納付還付税額】

計　算　過　程		（単位：円）
115,917,200円－98,233,300円＝ 17,683,900円	金額	17,683,900円